

		第6次総合振興計画			款	3 民生費	課・係名		
	基本目標	誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策	健康長寿の村づくりの推進	項	1 社会福祉費	民生課		
					目	2 老人福祉費	生活環境係		
事業通番 131210	事業名	後期高齢者医療事業			予算額			決算額	
	事業目的	後期高齢者医療の医療費負担	事業費	77,425	▲ 13,827	63,598	事業費	63,413	
			財源内訳	国庫支出金	0	0	財源内訳	国庫支出金	0
				県支出金	0	0		県支出金	0
				地方債	0	0		地方債	0
				その他	1,232	0		その他	1,148
				一般財源	76,193	▲ 13,827		一般財源	62,265
事業の内容及び成果・今後の課題									
	内容	事業費(円)	内容・成果						
	後期高齢者医療広域連合負担金	61,830,512	・療養給付費負担金・・・59,272,666円 ・事務費負担金・・・2,557,846円						
	後期高齢者医療健診事業	1,292,580	・健診受診者数 183人						
	後期高齢者人間ドック補助事業	290,000	・人間ドック補助 日帰り@20,000円×12人 1泊 @25,000円×2人						
	合計	63,413,092							
■課題及び今後の取組									
早期発見、早期治療による医療費の抑制に繋がるように、関係部署と連携して健診等の受診率向上に努める。									
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	後期高齢者特定健診				190	183	96%	B	特定健診及び人間ドックを受診することにより、病気の早期発見、早期治療による医療費抑制に繋がっている。
	後期高齢者人間ドック補助				20	14	70%		
評価委員評価									
	公共性	B	総合評価 (妥当性)	B					
	公平性	B							
	有効性	B							
	効率性	B							

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

第6次総合振興計画				款	4	衛生費	課・係名		
基本目標		人と地球にやさしい村づくり	施策	農村の原風景と環境保全の推進		項	1	保健衛生費	民生課
				目	4	環境衛生費	生活環境係		
事業通番	事業名	環境公害対策費		予算額			決算額		
141403				当初予算額	増減額	予算現額			
事業目的	村民の生活環境及び自然環境を保全する。	事業費		700	▲ 30	670	事業費	545	
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	財源内訳	国庫支出金	0
			県支出金	0	0	0		県支出金	0
			地方債	0	0	0		地方債	0
			その他	61	0	61		その他	0
			一般財源	639	▲ 30	609		一般財源	545
事業の内容及び成果・今後の課題									
内容	事業費(円)	内容・成果		今後の課題					
河川などの水質検査	497,640	河川などの環境保全を目的に水質検査を実施。年4回(4月・7月・10月・12月)、村内13箇所(河川)の水質検査を実施。村公式サイト、広報誌に掲載し、河川水質検査の結果の周知を行った。		農作業の時期より結果に影響があるため、タイミングに注意したい。					
家庭簡易浄化槽汚泥汲み取りあっせん	0	河川の浄化を目的に、年3回(春・夏・秋)家庭簡易浄化槽汚泥の汲み取りについてあっせんを行う。汲み取り件数・汲み取り量 … 52件(12,450L)							
外来植物駆除事業	0	●下高井農林高校との連携(アレチウリ駆除 樽川左岸 樽川橋付近) 例年であれば、ふう太河童川普請と合わせて行う予定であったが、下高井農林高校のイベントが、川普請当日と重なり、都合が合わなくなったため今年度は見送ることとなった。 啓発のため、広報誌にて、村民への周知に努めることとした。(令和4年度7月号特集掲載)		繁殖力が異常に強い外来種は、抜き取った後放置するだけでも種が飛び散る可能性があるため、駆除後は燃えるごみとして出していることから、かえってごみを増やしているとの懸念がある。 さらには、駆除方法を誤ると元より数が増加するため、対策に苦慮している。 当面は広報による周知の活動を継続して行い、外来植物についての知識を村民と共有する。					

その他	47,040	<ul style="list-style-type: none"> ・信濃川を守る協議会負担金 … 3,000円 ・豊かな環境づくり北信地域会議負担金 … 5,000円 ・剪定木チップ化機器負担金 … 32,000円 ・広報折込料 … 5,500円 ・その他消耗品 … 1,540円
合計	544,680	

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み	単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	河川の水質検査	回	4	4	100%	C	広報誌で2ページの特集に村に生育している外来植物について、広報することができたが、継続して行うことができなかった。今後は、時間に余裕を持って広報活動に望み、一つずつ深く掘り下げるようにするほか、TV広報にて1種類ずつ駆除方法を周知など行いたい。
	外来植物駆除のためのTV広報	回	4	0	0%		
	外来植物駆除のための広報誌による周知	回	4	1	25%		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	住民への周知のため、積極的な広報活動を望みたい 実施内容および効果が確認できない
公平性	B			
有効性	C			
効率性	C			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画		款	4 衛生費	課・係名			
基本目標		人と地球にやさしい村づくり	施策	ごみの減量化とリサイクルの促進	項	1 保健衛生費	民生課		
					目	4 環境衛生費	生活環境係		
事業通番 141404	事業名	一般廃棄物処理事業		予算額			決算額		
	事業目的	・木島平村廃棄物の処理及び清掃に関する条例並びに木島平村一般廃棄物処理計画に基づき事業を行う。 ・ごみ処理等広域行政組合で共同で処理することによって業務の効率化を図る。 岳北広域行政組合への各種分担金		事業費	91,958	▲ 5,965	85,993	事業費	85,644
				財源内訳				財源内訳	
				国庫支出金	0	0	0	国庫支出金	0
				県支出金	0	0	0	県支出金	0
				地方債	0	11,300	11,300	地方債	11,300
				その他	1,155	0	1,155	その他	1,119
				一般財源	90,803	▲ 17,265	73,538	一般財源	73,225
事業の内容及び成果・今後の課題									
	内容	事業費(円)	内容・成果		今後の課題				
	一般廃棄物分別収集委託業務	12,119,949	村内の家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみなどを定期的に収集するため、委託業者へ分別収集委託する。		可燃ごみを減らす取り組みとして、生ごみを極力減らすよう、適宜広報誌などでコンポスターの生ごみ減量の方法を周知していく。				
	粗大ごみ回収業務	154,000	年1回秋季に処分委託業者と村内全域を周り、村内の家庭から排出される粗大ごみの回収を行う。 回収されたごみの中に含まれる金属類は有価物で売渡しされる。 ・(収入) 有価金属など販売代金 … 7,800円		環境衛生委員への事前連絡をより詳細な文書にまとめ、混乱が無いように依頼する。 予期せぬアクシデントを避けるため、計画前に回収ルートをよく見回りする必要がある。				
	休日エコプラザ運営業務	47,190	毎月、最終日曜日に木島平浄化センターにて資源ごみ回収を行う。 毎度多くの村民の方に利用いただいております、資源ごみの回収場として一定の評価があると考えています。 また、年1回秋季に休日エコプラザ倉庫で古布回収を行っている。例年古布を有価物で売渡していたが、コロナ禍の影響により、金額がつかず、委託業者へ無償引取りで依頼した。 ・休日エコプラザ運営委託料 … 47,190円		ペットボトル回収用ネットやガラスびんコンテナの経年劣化が原因で、使用できる備品(ネット、コンテナ)の数が年々減ってきている。飲料水の需要が増える夏の時期になると、ガレージ内の備品では足りなくなる場面が多々ある。 これは、村全体の各地区にも同様の傾向にあり、近い内に備品の補充をする必要がある。				

古紙類売渡委託業務	0	村内で分別回収した古紙類を入札で決定した委託業者へ売り渡す。令和元年の台風災害で売渡単価が下がったが、年々戻りつつあり、安定した村の収益となっている。 ・(収入)古紙販売代金 … 700,887円	分別が悪くなると、売渡単価が低くなる原因になるため、定期的に分別の仕方や禁忌品の種類を周知する必要がある。
ごみステーション設置補助金	200,000	ごみステーションを新規購入、設置を行う区への補助金。 【実績】 ・北鴨区 1件、稲荷区 1件 計 2件	環境衛生委員会などで老朽化が進んだごみステーションなどがあるか調査し、新規購入が必要かどうか確認が必要。
生ごみ削減対策補助金	246,014	日頃家庭から出る生ごみを減量させるべくコンポストなどの購入費削減を目的とした補助金。処理容器は購入費の2/3、処理機は購入費の1/2を補助する。(1つにつき、2万円限度) 令和5年4月より、処理容器、処理機の購入費の2/3を補助する。(処理容器は2万円限度、処理機は5万円限度)に改正する。 【実績】 ・生ごみ処理容器補助金申請件数 … 35件	より多くの補助申請が行われるように、広報活動に力を入れたい。
その他	72,876,930	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスびんパッカー車維持経費負担金 … 74,830円 ・プラスチック容器包装処理負担金 … 782,365円 ・食用廃油処分委託料 … 28,600円 岳北広域行政組合負担金 ・ごみ処理処分施設費分担金 … 59,022,000円 ・グリーンパークみゆき野分担金 … 9,923,000円 ・火葬場分担金 … 3,030,000円 ・その他消耗品 … 16,135円 	
合計	85,644,083		

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					担当評価	評価の根拠・説明・考察
	単位	目標	実績	達成度			
	ごみ減量のためのTV広報(生ゴミ堆肥化等)	回	4	1	25%	B	新型コロナウイルス感染症蔓延時、組成調査による感染防止のため、夏、冬の2回を実施することができなかった。広報について、既存の業務との優先順位がつけられず目標達成することができなかった。生ごみたい肥化機器の補助金申請が昨年度より増加していることから、住民からの需要のある分野であるため、今後はこれら周知を最優先にしてい
	分別・リサイクル意識高揚のための広報誌による周知	回	4	3	75%		
組成調査	回	4	2	50%			

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	ゴミの減量化の一層の推進を図る
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	8 保健事業費		課・係名		
基本目標		誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり		施策	健康長寿の村づくりの推進		項	2 特定健康診査等事業費		民生課	
							目	1 特定健康診査等事業費		生活環境係	
事業通番	782101	事業名	特定健康診査等事業			予算額			決算額		
		事業目的	特定健康診査・特定保健指導 被保険者の健康の保持・増進を目的とし、医療費の抑制につなげる。			事業費	4,703	0	4,703	事業費	4,041
						財源内訳			財源内訳		
						国庫支出金	0	0	0	国庫支出金	0
						県支出金	2,898	0	2,898	県支出金	3,039
						地方債	0	0	0	地方債	0
						その他	0	0	0	その他	0
						一般財源	1,805	0	1,805	一般財源	1,002
事業の内容及び成果・今後の課題											
<p>■事業内容及び成果 40歳～74歳の加入者に対し、糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査・保健指導の実施。 未受診者に対する受診勧奨通知や、40歳未満の被保険者の若者健診も実施。</p> <p>■課題及び今後の取組 特定健診等を行うことにより、糖尿病等の生活習慣病及びその予備群の早期発見・指導につながり、現在及び将来的な医療費抑制を図る。 受診率向上のために、対象者の把握や状況に応じた対応を関係部署と連携しながら事業を進める。</p>											
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み				単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察 今年度の受診率、終了率は次年度9月以降に確定するため前年度分を指標としている	
	特定健診受診率（法定報告：R3）				%	56	56	100%	B		
	特定保健指導終了率（法定報告：R3）				%	75	73.8	98.4%			
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B								
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										